

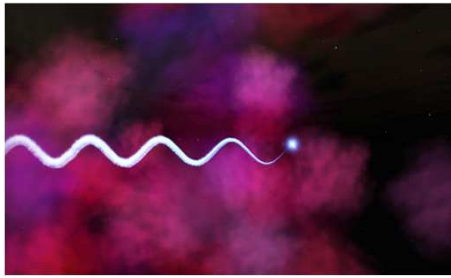
脈波が織りなす美しき世界

1. Virtual Reality を用いた可視化

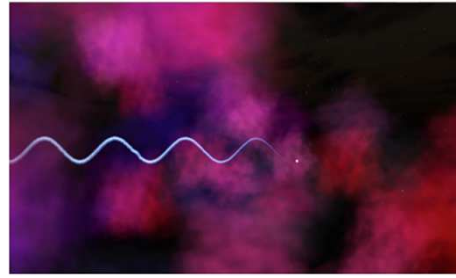
- ・ 脈波と同期して物体の明るさや動きが変化する

例) 脈波の数値が上昇する → 物体が明るくなる、上昇する

脈波の数値が下降する → 物体が暗くなる、下降する



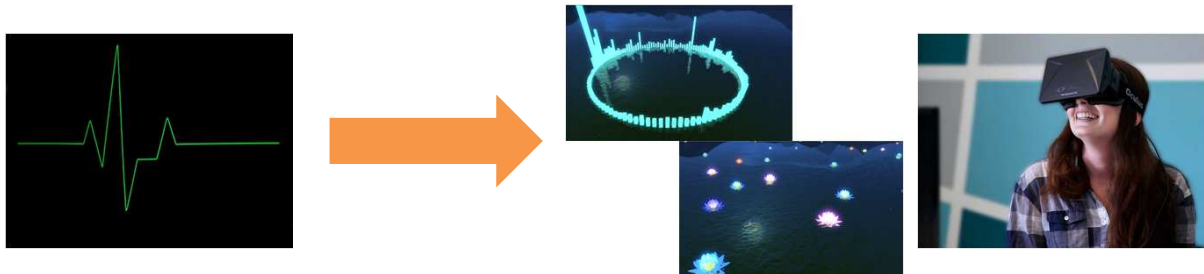
脈波上昇時



脈波下降時

2. フィードバックとその効果

- ・ 使用者から取り込んだ信号に同期して、VR空間に変化を与える
- ・ 視覚からの引き込み現象 → 使用者の脈拍数の低下(リラクゼーション)?



AFS(ambient Feedback System)研究会: <http://kjs.nagaokaut.ac.jp/nomura/afs/>

3. 発展性

多数の表現方法があり、様々な方法で情報を表示できるため発展性は高い

- ・ アミューズメント分野および個人用医療機器・サービスへの利用
 - a) ログとして情報を示すだけでなく、娯楽性を持たせることで使用者の飽きを解消
継続したヘルスケアの実施が可能になる
 - b) 使用者に分かりやすい形で情報を表現できる → 専門知識を有さない場合も
自身の生体情報を確認できる